

村半利活用検討会（令和4年度第1回）結果報告

日時 令和4年6月2日（木）16時00分～17時20分

場所 村半 大会議室、飛驒高山にぎわい交流館「大政」

出席者 検討会メンバー8名、事務局（企画課）5名

内容

1. 協議事項

(1) 利用状況等について

- ・令和4年3月から5月末までの利用状況や占用利用実績等について説明
- ・今後の占用受付について

(2) 村半主催イベントの実施について

2. その他

飛驒高山にぎわい交流館「大政」の見学

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

メ:利用者登録の高校生の内訳について、斐太高校が8割弱を占めているが、高校ごとに広報のアプローチを変えているのか。

事:5月の上旬に飛驒地域の高校1年生全員に利用登録の案内文書を配布した。斐太高校生が多い理由としてこの施設の立地があると思う。

メ:村半が駅や自宅など通学路の途中にあるということは大きな要因だと思う。

メ:先日村半の大会議室でオンライン座談会を開催したが、事務所から大会議室までインターネットを有線で接続して行った。村半はWi-Fiが整備されているものの、混線しているエリアなのでつながりにくくなることがある。自前のポケットWi-Fiなどを持ってきても混線しているエリアのため遅くなってしまう。大会議室までの接続に必要な長いLANケーブルが常設してある、または使われそうな場所に有線LANが刺せるような環境があると便利になると思う。また、村半の会場のマイクの音をオンラインでつなげるための、操作卓も加工してもらい初心者でも配線がしやすくなったのでありがたい。100人ほどオンライン接続したが安定して実施できた。

メ:「大政」がオープンしたが、村半と似ている部分があると思う。大政は物販ができたり違う特色はあると思うが、村半と大政がお互い紹介しあうといった流れを作っていくのか、ここならではという部分を強化するのか。

事:現時点において明確な差別化はできていないが、連携を深めながら役割を分担していきたい。大政の他に、まちの博物館、まちの体験交流館、かんかこかんといった周辺の施設の連携をしていきたいと思っている。これらの施設の担当者を集めた連携会議を設定することとなり、それぞれの施設の特徴やできること等の情報共有を行いたい。

メ:村半と大政のスタッフ同士の交流はあるのか。

事:それぞれのスタッフが互いに施設を行き来し、スタッフ同士で施設の使い方や特徴を聞き取りし合うことをしている。これまでも物販の相談があった場合は、まちの体験交流館を案内するなどの連携を図っている。それぞれの良さを生かすことができるようなつながりができると良いと考えている。

メ:それぞれの施設の情報発信については、インスタグラム等の SNS が若者には情報をつかみやすいと思う。

メ:かんかこかんの2階の利用件数は増減があるか。また利用料は有料か。

事:把握していない。

メ:利用者は利用料が無料の施設に流れやすい。無料施設が利用できないときに有料施設に流れてくる。

メ:利用団体へのアンケートを実施すると良いと思う。希望を聞くことで施設運営のプラスにつながると思う。

事:利用者向けのアンケートを1年前に取っているが、現在アンケート実施の準備をすすめている。併せてご提案いただいた団体アンケートについても実施したい。

以上